

人権課題を身近な問題と捉え理解を深めていくことにより、一人ひとりに何ができるかを考え、行動のきっかけとします。

【会場】江東区役所7階 71・72会議室（江東区東陽4-11-28）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、延期または中止となる場合があります。

第1回 なぜ救出できない拉致被害者

～北朝鮮による拉致問題を考える～

【日時】1月18日（水） 午後6時30分～8時00分

【講師】村尾 建児さん（特定失踪者問題調査会 幹事長）

民間企業（広告関連）退社後、拉致被害者家族である増元照明氏の個人事務所（当時参議院議員候補）勤務を経て、平成16年、特定失踪者問題調査会理事に就任。広報担当、家族支援をする他、北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」を立ち上げから担当し、番組制作、妨害電波対策など全ての運用に従事する。また、拉致問題を次の世代へ伝える活動として、アニメや音楽を使った啓発に取り組む他、労働組合や運動団体の青年層を中心に全国で講演を実施。

平成22年3月同会専務理事。平成29年9月同会副代表兼事務局長に就任。令和3年1月29日同会幹事長に就任。戦略情報研究所（株）専務取締役。月刊誌「正論」などに複数寄稿。



第2回 「見た目」の差別

～「見た目問題」から考える、ルッキズムの行く末～

【日時】1月19日（木） 午後6時30分～8時00分

【講師】外川 浩子さん（NPO法人マイフェイス・マイスタイル代表）

NPO法人マイフェイス・マイスタイル（MFMS）代表。

東京都墨田区生まれ。20代の頃につきあった男性の顔に大きな火傷の痕があったことがきっかけで、見た目の問題に関心をもつようになる。一緒に街を歩いているときも、電車に乗っているときも、たくさんの人たちの視線を感じ、「人って、こんなに無遠慮に見てくるんだ！？」という驚きと、見られ続けるストレスにショックを受ける。

2006年、実弟の外川正行とマイフェイス・マイスタイルを設立。見た目に目立つ症状をもつ人たちがぶつかる困難を「見た目問題」と名づけ、交流会や講演などを通して問題解決をめざし、「人生は、見た目ではなく、人と人のつながりで決まる」と伝え続けている。

